

樹木診断報告書

委託件名 泉穴師神社台風被害樹木

樹種名 クスノキ

所在地 大阪府泉大津市豊中町1-1-1

古川庭樹園

専務 古川 元一

調査日時 令和 1年 6月 3日 午前 9時 30分 開始

調査員名 樹木医 古川 元一 樹木医 東條 一幸



現在の状況 去年平成30年9月4日に襲来した台風21号の強風により大阪府の緑の森に指定されている神社の森も甚大な損害を受け、その中でも泉大津市の天然記念木に指定されている御神木のクスノキの1体が寝返り倒木の被害を受け存続の危機に立たされていました。その中で、氏子、また市内の有志、の方々で今の御神木の状態を災害自然遺産として残す決断をされ、後世に残すというプロジェクトが立ち上がっています。

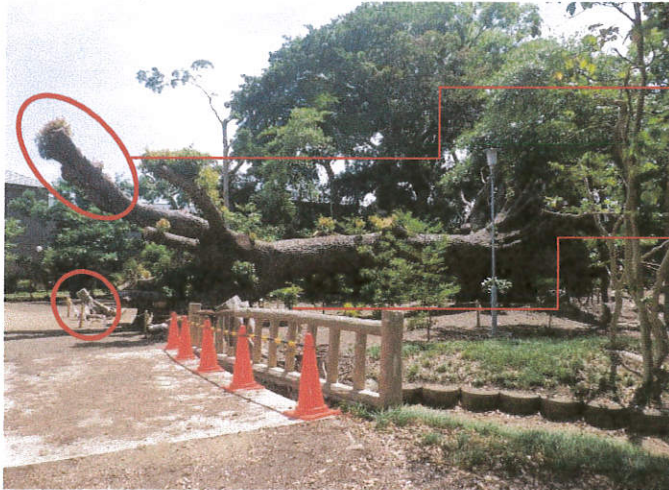
樹木の現状 現在の樹木の状態は、主幹を残し危険な大枝の切除を行った形で、幹からの萌芽が多数見て取れます。この状態は主幹に蓄積されている養水分で発生した萌芽で根系からの養分の補給での萌芽とは異なり樹体が保有している養水分がなくなれば必然的に萌芽枝は枯れると思われます。今後あわよくばこの萌芽の光合成等の副産物で、かろうじて地上と繋がっている根系の活性が高まり主幹下部の萌芽が存続する可能性も僅かですが、一部分残っています。加えて、奇跡的に寝返りした根系の一部から根萌芽している物があり是を御神木の子孫として撫育して後世につなぐことも大切な作業になるでしょう

	樹形
	幹回り 4.25m
	主幹長さ 13m
	寝返り根鉢 幅10m 高さ8m
	倒木方向 北向き

今後に向けた課題

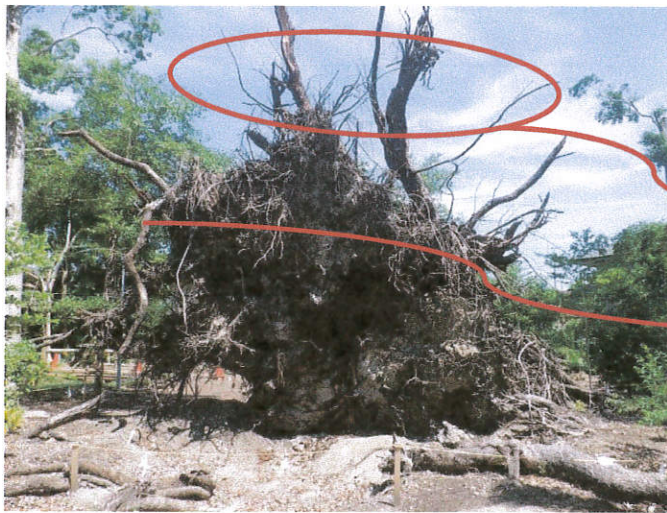
① 神社の解放された森であり安全面には十分な対応が必要

対応策 現在残っている主幹上部の力学的に今後強度が劣ってくる太枝の切り下げ
寝返り根鉢も同様に経年変化で脱落する根系の切除
人止め柵の充実 現在縄張りを施していますがこの形を充実させる



切り詰める

縄張りの充実



経年変化を見て切除

ぶら下がっているので切除

② 倒木主幹の支え

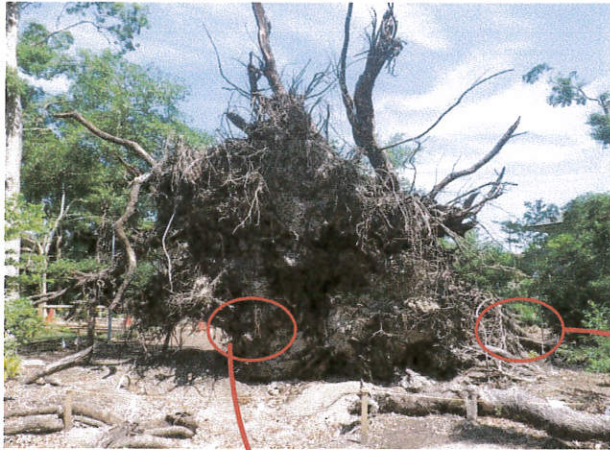


後世に残すため後世の支柱が望ましい

支柱設置と同時に裂けている個所の切り戻し行う

③ 後継萌芽撫育作業

根萌芽の育成



図示した部分に客土を施す

2か所施工 乾燥防止及び発根促進

根萌芽状況



④ 今後の保存方法

現在ご神木は生きて生存している状態ですので、経年変化を観察し樹体の水分が抜け枯死が確認された時点で、木固め剤の塗布行い腐朽から守る方法が考えられます。
金額的なこともあります、風雨をしのぐ屋根の設置も今後の課題として考えられる

この御神木の調査に当たり、災害自然遺産として残す決断をされた関係皆様の樹木に対する愛情並びに畏敬の念の深さに驚かされると同時に今後後世に災害の恐ろしさを伝えてゆこうと言う気持ちに感銘を受けました。

是非このプロジェクトが成功することをお祈りしております

樹木医

古川 元一